



# 日野川堰直上流にコハクチョウが飛来しています

日野川河川事務所

平成30年1月25日(木)



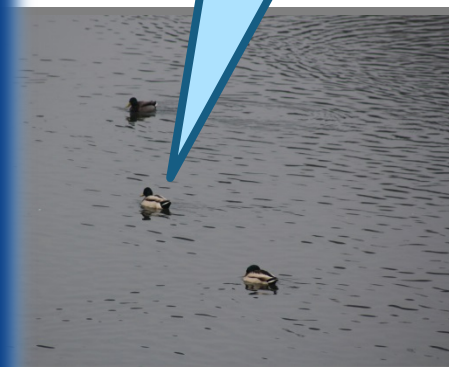
伯耆国「大山開山」年祭



撮影日:平成30年1月25日



マガモの雄 です



日野川の河口から4キロ付近には日野川堰があり、毎年冬になると日野川堰直上流部周辺の湛水域(流れの静穏な水域)に、ヒドリカモ・マガモ・ミコアイサ等多くの冬鳥が飛来します。

「米子市の鳥」に制定されているコハクチョウも現在100羽程度飛来しています。

飛び立つのに長い距離を必要とするコハクチョウにとって見通しのきく広い浅瀬は絶好の休息場所になっており、当該地点が朝9時頃には南方の水田に採餌に出かけて夕方には眠るためのねぐらとなっています。